

様式第 2 号

法第2条第2項第1号関係 住居と勤務場所との間の往復 の場合		通勤災害認定請求書		* 認 定 番 号		
地方公務員災害補償基金		請求年月日 年 月 日				
大分県 支部長 殿		(〒 ー)				
下記の災害については、通勤により生じたものであることの認定を請求します。		請求者の住所				
		電話番号				
		フリガナ 氏 名				
		被災職員との続柄				
		☐ 地方公務員災害補償基金からの通知を電子データ受け取ることを希望する				
		メールアドレス				
被災職員に関する事項	1	所属団体名		フリガナ		
		所属部局名		氏 名		
		(電話番号)		年 月 日生 (歳)		
		職 名 ☐ 常 勤 ☐ 令第1条職員		共済組合員・健康保険組合員記号番号 第 号		
		災 害 発 生 の 日 時 年 月 日 (曜日) 午前 午後 時 分頃				
		災 害 発 生 の 場 所				
		傷 病 名				
	傷病の部位及びその程度					
* 受 理 (到達した年月日)		所 属 部 局 年 月 日		任 命 権 者 年 月 日		
* 認 定		年 月 日 ☐ 該当 ☐ 非該当		* 通 知 年 月 日		

〔注意事項〕

- 1 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入する、又は該当する箇所を○で囲むこと。
- 2 請求者は、地方公務員災害補償基金からの通知を電子データで受け取することを希望する場合は、メールアドレスを記入すること。
- 3 「1 被災職員に関する事項」の欄の「職名」は、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
- 4 この様式において「通勤」とは、職員が、勤務のため、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復すること（公務の性質を有するものを除く。）、職員が、この往復の経路を逸脱し、又はこの往復を中断した場合においては、その逸脱又は中断の間及びその後の往復は、上記の通勤には該当しないこと。
ただし、その逸脱又は中断が、日常生活上必要な行為であって総務省令で定めるものをやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合は、その逸脱又は中断の間を除き、この限りでないこと。
したがって、「2 災害発生状況等」の欄は、災害が上記の通勤により生じたものであることが明らかとなるよう、その状況を記入すること。
- 5 「3 災害発生状況等」又は「*5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、当該欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

2	(1)	災害発生の日の勤務開始（予定）時刻又は勤務終了の時刻	午前 午後	時	分頃
	(2)	災害発生の日に住居を離れた時刻	午前 午後	時	分頃
	(3)	災害発生の日に勤務場所を離れた時刻	午前 午後	時	分頃
	(4)	災害発生の状況			
* 3	1 及び 2 については、上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 所属部局の { 名 称 所 在 地 長 の 職 ・ 氏 名				
4	添付する資料名	☐ 診断書 ☐ 現認書又は事実証明書 ☐ 交通事故証明書 ☐ 第三者加害報告書 ☐ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☐ 出勤簿の写 ☐ 見取図 ☐ 経路図 ☐ 関係規程 ☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☐ 写真 ☐ 示談書 ☐ その他			
* 5	任命権者の意見	年 月 日 任命権者の職・氏名			

- 6 「2 災害発生の状況等」の欄の（1）には、災害が出勤の際に生じたものである場合は、勤務開始（予定）時刻を、災害が退勤の際に生じたものである場合は、勤務終了の時刻を記入すること。また、（2）は、災害が出勤の際に生じた場合に、（3）は、災害が退勤の際に生じた場合にそれぞれ記入すること。
- 7 「* 3 所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱い、基金に相談すること。
- 8 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の9種類の区分番号を記入すること。
- 1 義務教育学校職員 2 義務教育学校職員以外の教育職員 3 警察職員 4 消防職員
5 電気・ガス・水道事業職員 6 運輸事業職員 7 清掃事業職員 8 船員 9 その他の職員
- 9 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の16種類の区分番号を記入すること。
- 01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師・助産師 04 その他の医療技術者 05 保育士・寄宿舍指導員等
06 船員 07 土木技師・農林水産技師・建築技師 08 調理員 09 運転士・車掌等 10 義務教育学校教員
11 義務教育学校以外の教員 12 その他の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃職員 16 その他の職員
- 10 年月日の記載には元号を用いる。

様式第2号

法第2条第2項第1号関係
住居と勤務場所との間の往復
の場合

通勤災害認定請求書

* 認定番号

請求書を所属長に提出する年月日を記入します。

地方公務員災害補償基金

大分県

支部長 殿

下記の災害については、通勤により生じたものであることの認定を請求します。

任命権者単位で記入します。

請求年月日

令和 〇 年 〇 月 〇 日

(〒 〇〇〇 — 〇〇〇〇)

請求者の住所

〇〇市〇〇町〇〇番地

〇〇マンション〇〇号室

電話番号

〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

フリガナ

オオイタ タロウ

氏 名

大 分 太 郎

被災職員との続柄

本 人

☐ 地方公務員災害補償基金からの通知を電子データ受け取ることを希望する

メールアドレス

1

所属団体名

大分県

フリガナ

オオイタ タロウ

氏 名

大 分 太 郎

☐ 男

☐ 女

所属部局名

総務部 人事課 〇〇班

〇〇 年 〇 月 〇 日生 (〇 歳)

(電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)

災害発生日における満年齢を記入します。

職 名

主事

☒ 常 勤

☐ 令第1条職員

共済組合員・健康保険組合員記号番号

地・大分 第 〇〇〇〇 号

災害発生日の時

令和〇 年 〇 月 〇 日

(〇 曜日)

午前

〇 時 〇 分頃

午後

災害発生の場所

〇〇町〇〇番地先交差点

傷 病 名

右上腕骨骨折、頭部打撲傷、外傷性頸部症候群

医師の診断書に基づき
記入します。

傷病の部位及びその程度

上記部位 2ヶ月の加療が必要

* 受 理

所 属 部 局

任 命 権 者

基 金 支 部

(到達した年月日)

令和〇 年 〇 月 〇 日

令和〇 年 〇 月 〇 日

年 月 日

* 認 定

年 月 日

☐ 該当 ☐ 非該当

* 通 知

年 月 日

- 〔注意事項〕
- 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入する、又は該当する箇所を○で囲むこと。
 - 請求者は、地方公務員災害補償基金からの通知を電子データで受け取ることを希望する場合は、メールアドレスを記入すること。
 - 「1 被災職員に関する事項」の欄の「職名」は、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
 - この様式において「通勤」とは、職員が、勤務のため、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復することを行い（公務の性質を有するものを除く。）、職員が、この往復の経路を逸脱し、又はこの往復を中断した場合においては、その逸脱又は中断の間及びその後の往復は、上記の通勤には該当しないこと。
ただし、その逸脱又は中断が、日常生活上必要な行為であって総務省令で定めるものをやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合は、その逸脱又は中断の間を除き、この限りでないこと。
したがって、「2 災害発生の状況等」の欄は、災害が上記の通勤により生じたものであることが明らかとなるよう、その状況を記入すること。
 - 「2 災害発生の状況等」又は「*5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、当該欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

災害発生 の 状 況 等	(1)	災害発生の日の勤務開始（予定）時刻又は勤務終了の時刻	午前 午後	8	時	30	分頃	
	(2)	災害発生の日に住居を離れた時刻	午前 午後	8	時	10	分頃	
	(3)	災害発生の日に勤務場所を離れた時刻	午前 午後		時		分頃	
	(4)	災害発生の状況						
	次の記載ポイントについてできる限り具体的に記入してください。							
	①	通常の通勤方法	私は、大分県人事課に勤務しており、通常は〇〇（通勤方法）で通勤しています。					
	②	当日の状況	令和〇年〇月〇日（〇）午前〇時頃に〇〇（通勤方法）で自宅を出ました。					
			※通常の方法以外の方法であった場合はその理由を記入					
	③	いつ・どこで	午前〇時〇分頃、〇〇市〇〇町〇〇番地先交差点で					
	④	何をしていたとき	信号待ちのため停車していたところ、					
	⑤	何が原因で・何が起き	後続の自動車が前方不注意でスピードを落とさずに追突してきたため、					
	⑥	どこをどのように負傷し	右上腕、頭部、頸椎を打ち付けて負傷しました。					
	⑦	どこの医療機関を受診し	その場で〇〇病院へ救急搬送され、					
	⑧	どのような診断をされたか	右上腕骨折、頭部打撲傷、外傷性頸部症候群と診断されました。					
* 3 長所の 属部局 の	1 及び 2 については、上記のとおりであることを証明します。							
	令和〇 年 〇 月 〇 日		名 称 大分県総務部人事課 所 在 地 大分市大手町3丁目1番1号 長の職・氏名 課長 〇〇 〇〇					
4	添付する資料名	☒ 診断書 ☒ 現認書又は事実証明書 ☒ 交通事故証明書 ☒ 第三者被害報告書 ☒ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☒ 出勤簿の写 ☒ 見取図 ☒ 経路図 ☐ 関係規程 該当する□にしを記入します。 ☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☐ 写真 ☐ 示談書 ☒ その他						
* 5 任命権者の 意見	9 1 6 本件は、出勤途中に発生した災害であり、通勤災害に該当すると認められる。 令和〇 年 〇 月 〇 日 任命権者の職・氏名 大分県知事 〇〇 〇〇							

- 6 「2 災害発生の状況等」の欄の（1）には、災害が出勤の際に生じたものである場合は、勤務開始（予定）時刻を、災害が退勤の際に生じたものである場合は、勤務終了の時刻を記入すること。また、（2）は、災害が出勤の際に生じた場合に、（3）は、災害が退勤の際に生じた場合にそれぞれ記入すること。
- 7 「* 3 所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱いは、基金に相談すること。
- 8 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の9種類の区分番号を記入すること。
- 1 義務教育学校職員 2 義務教育学校職員以外の教育職員 3 警察職員 4 消防職員
5 電気・ガス・水道事業職員 6 運輸事業職員 7 清掃事業職員 8 船員 9 その他の職員
- 9 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の16種類の区分番号を記入すること。
- 01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師・助産師 04 その他の医療技術者 05 保育士・寄宿舍指導員等
06 船員 07 土木技師・農林水産技師・建築技師 08 調理員 09 運転士・車掌等 10 義務教育学校教員
11 義務教育学校以外の教員 12 その他の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃職員 16 その他の職員
- 10 年月日の記載には元号を用いる。